

遺伝性乳癌卵巣癌症候群にてリスク低減卵管卵巣摘出術を受けられた

患者さんの検体・情報を研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 当院における遺伝性乳癌卵巣癌に対する腹腔鏡下リスク低減卵管卵巣摘出術の現状と課題

[当院の研究責任者] 産婦人科 河村 京子

[研究の背景]

遺伝性乳癌卵巣癌（HBOC）は乳癌や卵巣癌のリスクが高くなる遺伝性腫瘍症候群です。卵巣癌のリスクを低減させるためにリスク低減卵管卵巣摘出術（RRSO）が推奨されています。2020年4月に乳癌既往のあるHBOCの方に対してRRSOが保険収載され、RRSOを行う施設が増えてきました。RRSOの現状と課題を明らかにし、今後のHBOC診療に役立てる必要があると考えています。

[研究の目的]

当院における遺伝性乳癌卵巣癌に対する腹腔鏡下リスク低減卵管卵巣摘出術の現状を確認し、課題を明らかとする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

遺伝性乳癌卵巣癌の患者さんで、西暦2019年1月1日から西暦2021年11月30日の間にリスク低減卵管卵巣摘出術（RRSO）を受けた方

●研究期間：倫理審査委員会承認日から西暦2023年3月31日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、乳癌既往の有無、手術時における乳がん治療の種類、手術時の情報（術式、手術時間、出血量）、病理学的検査所見

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

●検体や情報の管理

検体や情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

産婦人科 河村 京子

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881